

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援事業所 リッケラボ (保育所等訪問)		
○保護者評価実施期間	2026/3/1		2026/3/20
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026/3/1		2026/3/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026/3/1		2026/3/20
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/31		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	・ 保育所等訪問のサービス概要をきちんと説明をし、保護者様のニーズや訪問先の状況に応じて支援を方法の検討を行っている。管理職や担任へのサービス説明や情報共有を徹底している。	・ 継続して保護者様のニーズ確認と、訪問先の状況の把握を徹底し、支援体制の調整を行なっていく。継続して訪問が行えるよう徹底した周知を行っていきけるよう努めていきます。
2	保育所等訪問支援計画 (個別支援計画) には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	・ 半年ごとのモニタリングを行いながらも、必要に応じて保護者様と面談、相談に応じながら適宜アセスメントをしておし、個別支援計画の更新を行なっている。	・ 今後も保護者様からの相談に応じながら、適宜個別支援計画の更新、変更に取り組んでいきたい。
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	・ 対象の児童の情報収集について、自宅や通所事業所、訪問先からの情報をまとめ、各場面での様子を踏まえた上で提供する支援の検討を行なっている。	・ 引き続き本児に必要な情報を関係機関を保護者様からいただき、現状に合った支援を提供していく。情報共有を行うために、関係性を重要視し、提供できるサービスの開示、求められている支援などの確認の徹底をしていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	・ 訪問員から保護者へ「教具」「教材」の説明、提案がなされていなかったために、どのようなものがあるかの理解の促しができなかった。	・ 状況に応じて敵愾な「教具」「教材」を提案する。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	・ 訪問員の情報不足のため、提案が行えなかった。	・ 県、市町村で開催される研修会への参加や、情報収集に努める。保護者様のニーズを確認し、必要な情報提供が行えるように職員研修を行う。
3	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	・ 訪問先との緊急時の対応についての話し合いが行えていなかった。また、保護者への説明が訪問員からなされていなかった。	・ 訪問先の災害時の対応について訪問員が把握し、保護者様への周知まで行う。

## 公表 護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		リッケラボ		公表日 2026/3/31		利用児童数 11		回収数 11	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	6	1		4	教材を見る事ができないので、どちらとも言えません。	定期的なモニタリングや保護者様へお会いした際に使用している教員などを周知してもらえよう努めます。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8			3		・面談、モニタリング等の際に面接室を利用し、周知してもらえよう努めます。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11				モニタリングにて説明を受けている。	・今後も面談の際に事業の目的を適切に伝えられるよう努めていきます。		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	1			事前にいつどの授業などは知らないのと、学校側からも話がないので、保護者側からは後日分かる感じ。	・訪問先、保護者様と協議の上、訪問時間、頻度については検討していきます。		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	9	1		1	全体的にどの様な感じなのかはわからないので、娘だけの様子のみでしか把握はできない。	・訪問記録、支援提供内容などを週直保護者様へ伝え、児童の状態に応じた支援、その支援が提供できる職員体制を整えていきます。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11							
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11							
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11					指導員の先生と学校側で話し合って訪問を決めていると聞いてます。	個別支援計画にのりまわって、その後訪問先の先生方、保護者様の意向を確認し、作成していくよう努めていきます。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1			2		ガイドラインに沿った支援が提供できている胸を伝えられるよう努めていきます。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11							
保護者 への 説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11							
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11							
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	3			3		・今後研修会の情報提供、その機会を設けて保護者様へ周知することができるよう努めていきます。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10	1						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11							
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1						
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11							
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11							
非常 時 等 の 対応	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10			1		・訪問先施設との話し合いがあった際には保護者への周知、その記録の開示などに努めたい。		
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9	1		1	後日次の月に、報告書を書きますが出来ればリアルタイムで共有が欲しい、子供通しては無く指導員からの様子見が聞けたら助かる。	・今後はメールやLINEなどを活用し、タイムリーで共有することができるよう努めます。		
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8				3		・今後は定期的にSNS等で活動概要などの情報提供を努めます。	
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11							
満足 度	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8			3		・緊急時の対応について、保護者様に終始してもらえよう努めます。		
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1						
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11							
	28 事業所の支援に満足していますか。	11							

## 公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
多機能型支援事業所 リッケラボ		2026/3/31				
		利用児童数			11	回収数 11
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	3		・新しい支援員にもかわるポイントをわかりやすく伝えてくれて助かった。 ・教科書を読み、児童への支援、授業の進め方について参考になった。		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	1	1	・1対1での対応、学習課題についての共有ができてよかった。		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	1		・その日の様子を伝えてくれたり、児童の困り感や成長などを共有することができてよかった。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1	1	・交流学級での支援や様子を知ることができてよかった。 ・訪問先施設での課題と、事業所の課題が違うため、支援が難しいように感じた。		
5 事業所からの支援に満足していますか。	8	2	1	・保護者へがこうでの様子、持ち物等への不足を伝達してもらい準備してくれた。 ・色々な活動と一緒に参加してくれて助かった。		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に3回の訪問だったが、月曜日の訪問については落ち着いた児童もいて避けて欲しいと感じた。</li> <li>・より具体的な手立てなどがあれば知りたい。(他の集団の場での取り組みや本児にあった声かけや理解しやすい表現)</li> <li>・フィードバックをもう少しして欲しかった。短時間でのフィードバックしかできずにいた。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・週明けの訪問についてはその児童の特性を吟味し、適切な時間、日取りで訪問ができるよう留めていきたい。</li> <li>・具体的な手立てをその都度伝え、訪問先の困り感などを解消することができるよう努めていきたい。</li> <li>・適宜フィードバックを行い、その日で時間が取れない際には別日で時間をとってもらいながら、その児童のフィードバックができるよう努めていきたい。</li> </ul>		

公表 養護所における自己評価結果

事業所名	リックラボ 保育所等訪問		公表日 2026/3/31			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
・ 環 境 ・ 体 制 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	基本的に訪問先の保育教材や、学校では学習 共済を利用しているが、提供できる準備 は行っている。	より、本人にあった教材を準備できるように アセスメントを丁寧に行う。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		基準人員の配置を行っている。	複数名体制で切れ目のない支援を行えるよ うにしておく。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		年度初めに目標設定を行い、一年を通して 評価、分析、改善のサイクルを実施してい る。	引き続き、同様の取り組みを行っていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を 設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		今回初めの取り組みになったため、今回の意 見を踏まえた対応を行っていく。	今回初めの取り組みになったため、今回の意 見を踏まえた対応を行っていく。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務 改善につなげているか。	3		年度初めに目標設定を行い、一年を通して 評価、分析、改善のサイクルを実施してい る。	引き続き実施しているサイクルを実行して いく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげて いるか。		3	第三者による評価を行っていない。	今後、第三者による評価を検討する。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内 等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内の研修に加えて外部の研修への参加 も積極的に進めている。	引き続き、研修の機会を設ける他、常に制 度や支援方法のアップデートを行う。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保 護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支 援計画を作成しているか。	3		日々のこどもとの関わりの中でのアセスメ ント、定期的な保護者との面談からの聞き 取りを踏まえて計画を作成している。	引き続き制度に基づく支援計画の作成に取 り組む。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責 任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で 、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		毎日のMTGの中で共通認識を図るととも に、支援会議で計画作成のための聞き取り や計画の共有を行っている。	引き続き毎日のMTGを大切に職員間で の共有を行う。
適 切 な 支 援 の 提 供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者 等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先から聞き取りを行い、保護者だけ でなく訪問先の意向も確認しながら支援計 画の作成を行っている。	引き続き、訪問先の意向も確認しながら支 援計画に盛り込んでいく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	3		支援会議で計画作成のための聞き取りや計画 の共有を行っている。また、支援記録のフォー ムにて毎日計画を見ることになっている。	引き続き、計画に沿った支援を行なってい く。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォ ーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォ ーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		サービス等利用計画に照らし合わせた評価 の他に、当事業所の個別支援計画やアセス メントシートから評価を行うこともある。	引き続き、細やかなアセスメント行なって いく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な 支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインの具体的な支援内容を踏まえなが ら、支援内容を細かく設定している。	引き続き、具体的な支援内容を細かく設定し ていく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	3		支援会議で計画作成のための聞き取りや計画 の共有を行っている。また、支援記録のフォー ムにて毎日計画を見ることになっている。	引き続き、計画に沿った支援を行なってい く。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	3		毎日支援前MTGを行い、支援児童や役 割分担を行い、支援中も連携を取り合いなが ら確認を行なっている。	引き続き、毎日のMTGで確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		毎日のMTGにて、前日の支援の振り返り や確認を行い、当日の支援につなげている 。	引き続き、毎日のMTGで確認していく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊 重して支援を行っているか。	3		導入会議の際に、訪問先に対して理念や支 援方法を共有している。	引き続き、同様の取り組みを行っていく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・ 改善に繋げているか。	3		ICTを活用し、統一したフォーマットで記録の 細やかさと効率化も行ないながら漏れのないよ うに2重チェックをするなど日々努めている。	今後、記録の質の向上に努める。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、 保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直 しを行っているか。	3		定期的なモニタリングに加えて、保護者や 相談員、学校からの希望に沿って会議やモ ニタリングを行なっている。	引き続き、定期的なモニタリングを基に支 援計画の更新を行っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		基本的に児童発達支援管理責任者、必要に応じ て対象児童と信頼関係のある職員が会議に 参加し、会議内容を共有している。	引き続き同様の対応を行っていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	3		新年度に毎年各機関に挨拶を行い、日常的 に福祉課、教育委員会、こども課(行政)や 各学校と連携体制ができています。	引き続き、現行の体制を継続していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		移行時に会議を持ち共通理解を持つ機会を 設けている。	引き続き同様の対応を行っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		地域に児童発達支援センターがないため、 相談員や大学教授などの有識者からスパー ーバイズを受けることがある。	地域に児童発達支援センターの設置を市に 依頼していく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等 へ積極的に参加しているか。	3		児童発達支援管理責任者が地域の療育部会に 参加している。	今後も開催される療育部会に参加していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		日々の申し送りや定期的な面談でこども の情報を確認したりリッケでの様子を伝え ている。	引き続き保護者と共通理解を持てる機会を 確保していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		保護者むけの研修等の周知を行うことがあ る。	保護者に有益な情報がないか日々情報収集 に努め、共有していく。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026/3/31				
リックラボ 保育所等訪問						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時や加算等で、負担額に変更がある場合に説明している。	引き続き、丁寧に説明していく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		導入会議の際に、事業の趣旨や目的について説明を行っている。	引き続き同様の対応を行っていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		支援計画を作成する際に、面談や本人からの聞き取り等アセスメントしながら日々の支援でも子どもの意向も確認しながら支援を行なっている。	引き続き子どもや保護者の意向を確認しながらサービスの提供にあたる。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画の内容を確認してもらい、同意を得ている。内容に変更の希望がある場合は修正している。	引き続き、丁寧に説明し計画の同意を得ていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者からの希望や、事業所が必要を感じた場合に定期面談とは別で機会を設けて助言や話し合いを行なっている。	引き続き、丁寧な支援を行なっていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3	令和7年度は開催できていない。	令和8年度に開催できるよう持ち方を検討し計画を進める。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情に対する体制の整備をおこっている。	常に苦情解決の窓口の体制を確認する。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		HPやSNSを通じて活動やイベントの様子を発信している。	周知回数を増やすほか、内容も改善を進めていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ネットやPCにセキュリティをかけている他、紙媒体の資料についてはキャビネットに保管している。	引き続き、十分に注意する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		子どもや保護者に対して、理解し職員で共有して配慮して情報伝達を行なっている。	引き続き、十分に行き届いた配慮を行う。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		授業中や保育時間になかなか時間が取れないため、別途時間を設けることもある。	引き続き同様の対応を行っていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		モニタリングやその他サービス担当者会議の機会を設けている。	引き続き同様の対応を行っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		月の訪問記録をもとに毎月保護者へ支援内容を説明する。	引き続き同様の対応を行っていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ネットやPCにセキュリティをかけている他、紙媒体の資料についてはキャビネットに保管している。	引き続き、十分に注意する。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		授業中や保育時間になかなか時間が取れないため、別途時間を設けることもある。	引き続き同様の対応を行っていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを策定して、職員に周知している。	今後保護者に周知をする場面を設けていくように努める。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全マニュアルを作成し、定期的に事業所の安全確認を行なっている。	安全計画を毎年見直し、環境や利用児童にあったものにアップデートしていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットはすぐに共有し対応についての検討を行っている。また、定期的にまとめとしてヒヤリハットを共有し対策後の振り返りを行っている。	引き続き、ヒヤリハットを共有し、対応策の検討を継続していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		社内の虐待防止研修の他、外部の虐待防止研修に参加する等の機会を設けている。	引き続き、研修を進める他、お互いに日々の虐待防止に向け全員で連携して支援にあたる。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束が必要な該当児童がない。	今後該当児童を受け入れる場合に、必要な対応を適切に行う。